

脳

のしくみを使った学習

脳科学や心理学等の成果をとりこんだ学習手法の研究が進んでいることをご存知ですか？ いくつかの知識が確かな実践方法をとれば、学習はもつと楽しく、成果を出しやすくなります。

たとえば、「知能」について。人は、みな同じ程度の認知能力を持つわけではありませんが、実際のところそんなに差があるわけでもありません。また、かつての知能テストも言語習得力や数理的反応に限られていて、知能をみるものとしては疑問視されています。

そもそもIQテストは遺伝的・先天的な知能の発見だったのですが、そのテストの高得点者が社会で活躍している割合がそれほど高くないことなど、近年問題とされています。ハーバード大学のH・ガードナー博士は「人間は多重知性を持つ」と証明しこの活用を提唱しています。この時、知能は「ひとつ以上の文化的な場面で価値があるとみなされる問題を解決したり成果を創造する能力」とします。現在存在が確認されているのは、言語的知能、論理数学的知能、音楽的知能、身体運動的知能、空間的知能、対人的知能、内省的知能、博物的知能の8種。これらは、単独で効果を発揮するのではなく、複合的多重的に「フルマインド」で使うと、単独での利用より効果を発揮します。これらを統合すると、言語的な知能（ことばを覚える）時に、テキ

ピックアップ



ニユースレターでは、受験を乗り越えた、読書感想文を書き上げた生徒の体験談などを折にふれて紹介しています。

ピックアップでは視点を変えて、講師から見た授業の様子をお伝えします。今回は多感な中高生、好奇心旺盛な小学校低学年に分けてご報告いたします。



【中高生】

様々な分野の教材が豊富な松桜塾。中学生になると、哲学や社会学などに取り組みます。十代で生き方を哲学し、社会の構造を知れるなんて羨ましい限りです。では、同じ教材を家で一人取り組む場合との違いは何でしょうか？

松桜塾では、一人で分かるには経験値が足りない、という時に講師が手助けします。例えば、難解な用語の意味を言葉上の理解はできても、どういう状況をいうのか分からない

「消費はモノではなく、記号や観念を対象にしている」ってどういうこと？」という生徒の問いに対して、講師は

「記号とは、ある意味や内容を表すもので、観念とは、ある物事に対する考え方の事だ。」と辞書で説明される言葉の意味どおりで教えません。具体例を挙げながら説明します。

「ここでは、消費は『物に付随するある種の価値とか、イメージを手に入れようとすること』

ストを見ているだけでなく体も使って表現する（書く、しつかり声に出す、みぶりで意味することを表現する、など）方がよく覚えられます。また、静かな音楽を流すとかえって集中しやすいこともあります。教室では積極的に用いています。一人で悶々と考えても見落したり分からなかったりしていることが、講師と会話しているうちに分かってくる。見落したり分からなかったりしていることが多くあります。どうしても分からなかったことが、なぜか一人家に帰り考えているうちに、分かった、と喜色满面、次の授業にやってくることもあります。（これは、「混乱による刺激」でもあり、すぐに答えを教えるよりよい結果を出すよい例でもあります。）

また、知識や技術・スキルを吸収するのに適した方法も、厳密には十人十色、異なりま。大きく分けて「視覚」「聴覚」「身体感覚」の三つの入力センサーを用いて人は学習します。見て分かる力、言葉にして分かる力、実際にその場において分かる力、これらの能力は器質的な障害さえなければ、三つとも持っています。均等に使用しているわけではなく、個性差があります。だから、言い聞かせて、元氣よく「はい」と言われても実行してもらえない（分かってもらえない）ことも多いですし、料理や手順をメモしておかないと分からない人もいます。この脳の器質の差を理解し、得意なセンサーを用いる学習を心掛けると理解が早くなります。なんで分からないんだろう、と思う時、「視覚に訴える」「順

やね。例えば、好きな芸能人が持っていたから買った時計とか。この場合は、時計そのものの品質で選んだのではなく、「芸能人が持っている」ことに価値をみいだしているよね。流行ものもそうで、みんなが持っていることに意味を見出しているのよ。時に、これを持っていると偉く見えるみたいな、ステータスを価値としてもっている物もあるよね。」

と一通り説明をして終わりません。次には、発問をします。

「君もそういう風な物を買ったり、もしくは見るとこの事はない？」

自分の身に置き換える事が出来て初めて理解ができたことになりました。これが出来れば、次に同じ内容が出てきた時に自分の知識として使えるようになるからです。

このような感じで授業は進められます。対話形式なので、生徒は「質問力」と「回答力」が鍛えられます。と、偉そうなことを申し上げていますが、雑談が興じることもしばしば。ただ、大人と会話を楽しんでもちよっぴり賢くなっていくというのが松桜塾スタイルなのです。（小野寺）

【小学校低学年】

ことばを覚えて自由に使えるようになるにはとにかく書くのがいちばんの近道。少しくらいの誤字や脱字は気にしません。とくに低学年の子どもたちは間違ふことを恐れず、楽しみながらたくさん書いて、失敗して、そのたび成長

序ただしく話す」「身振り手振りを使う、やってみせる」など教え方を変える工夫をする。と、どうにも分からなかったことも理解できるようにになります。得意が分からない間は、いろいろと工夫して自分に最適なものを探す実験をするといいでしよう。

これまで常識と思われていた学習法は、苦痛が大きく成果や意味を見つけないにいいことでもあります。また「物分りがよくない」ということは、反復や時間を必要とするために、学習の神経に触れるチャンスが増え、必然的に粘りながら考える力も鍛えるので、将来的には物分りの良い人よりよい成果を出すことが多いのも、周知の通りです。松桜塾では特別イベントなどで詳しくご説明することがありますが、塾生に限らず、ぜひ多くの人に苦痛を取り除いた学習で、本来の才能・能力を開花し活用してもらえたいことを願います。（松末）



していきます。

基礎を築くこの学年の子たちに人気なのが五味太郎さんの「言葉図鑑」です。気づけば15や20もの文を書いていた！なんてこともしばしば。中でも2巻は様子のことばに自分で考えた動きのことばを付け加えて書いていくので、少々難易度が高くなります。

例えば、次の絵を見てこういったトークをします。

「だれが何をしているのかな？」

「そうだね、旗をふっているね。」

「これはフラッグとも言うよ。」

すると、子どもたちは自分で

男の子がばたばたと旗をふる。



ばたばた

知らないことばはイメージをわかせるために実際に試してみることもあります。

「くしゃくしゃ」をどう表現していいのかわからなかった子には「紙を丸める」ということばを教え、一緒に紙を丸めてみました。すると、丸めた感じとつぶした感じの違いに気づき、その言い方についても興味を広げることができました。

その子はインターナショナルスクールに通っていて、普段は英語で授業を受けています。日本語の細やかな表現を身につけるには、言葉の意味どおりで覚えるよりも、体感覚を加えて理解するといいでしよう。（興津）



くしゃくしゃ

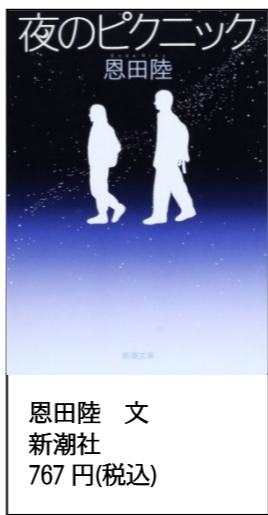
『夜のピクニック』

対象学年／中学生以上

この物語の舞台は高校の行事、歩行祭です。高校では体育祭や文化祭などの行事がありますが、この小説の高校には約20キロを朝から晩までの1日24時間をかけて歩く歩行祭という行事があります。高校三年生の主人公たちは今まで誰にも言えなかった秘密をこの歩行祭を通して友人に打ち明けていきます。そして、同級生と一緒にいることの喜びを実感します。

中高時代は人生でたった6年間しかありません。中高生の皆さんは1日1日を大切に過ごせていますか？中高生時代の友人は一生ものです。大学生や社会人になってからは取り戻せないものです。このお話では当たり前に感じて気づかなかった、友人の大切さを教えてくれるでしょう。

(前原)



恩田陸 文
新潮社
767円(税込)

コクゴのチカラ vol.25

松桜塾 662-0036 西宮市大井手町 3-11 夙川ビル 4F TEL・FAX:0798-74-2801
info@glt-shouou.com http://www.glt-shouou.com/ 2017年11月28日発行(第25号)

読書の魔術

「書物を読むということは、他人が辛苦してなしたげたことを、容易に自分に取り入れて自己改善をする最良の方法である。」(ソクラテス)

人はなぜ本を読むのでしょうか。人が行う作業が多岐にわたる現代、時間も足りない中、なぜ人は夢中で本を読むのでしょうか。多くの理由がありますが、一番は人生を切り開くことができるようになるからではないかと思えます。

読書は人間にしかできない「想像する」力を使った知的な営みです。読書を通じて、頭の中で実際に出会えるのとは別の体験をしています。つまり、読書をしている人は、しななかった場合より人生経験が多くなります。そうすると、未知の出来事へ対処しやすくなります。うまくいかないことがあっても、こうしよう、と思う選択肢が増えます。「風と共に去りぬ」の作者マーガレット・ミッチェルが一九三六年に出版社から受けたインタビューで「この作品にテーマがあるとすれば、生き残りということだと思います。激変を切り抜けていくことができる

ワークショップのご案内

◆松桜塾 親の会ダイジェスト

記事内でもご紹介した「脳の仕組みを使った学習方法」をご説明、実践する「松桜塾 親の会」。通常3回に分けて実施している講座ですが今回、その気になる内容をダイジェストでご紹介いたします。勉強はつらいものという考えを横に置き、子どもと一緒に成長を楽しむものにかえませんか。

日時…2月4日(日) 10時30分～12時30分
場所…松桜塾
対象…保護者
費用…1080円(税込)

◆親だつて松桜塾 親勉パートⅢ 実践編

松桜塾で行っている授業を大人も体験！パートⅢは、お選びいただいた教材で実際に演習します。

日時…2月4日(日) 14時～16時
場所…松桜塾
対象…保護者
費用…1080円(税込)

冬期講習のご案内

普段の通塾は難しいという方も、冬休みのこの機会に松桜塾の思考をめぐらすプログラムを体験し、読解力・理解力を高めませんか。

ぜひ、お待ちしております。
12月21日(木)～1月6日(土)
(日祝および12月29日～1月4日をのぞく)

※詳細は別紙をご確認ください。



レギュラー生への案内

月謝引き落とし

1月度 12月27日(水)
2月度 1月29日(月)

*振替日までに口座へご入金ください。

*口座振替でない方は、指定口座へのお振込み、または現金でのお支払いをお願いいたします。

祝日による休塾日

12月23日(土) 天皇誕生日
1月8日(月) 成人の日
2月12日(月) 建国記念日

*月・土曜の通塾生は、右記の授業を直近の講習会等で振り替えてください。

冬期講習

12月21日(木)～1月6日(土)

*冬期講習中も通常授業は行います。ご注意ください。

年末年始休塾日

12月29日(金)～1月4日(木)

最後までお読みいただき、ありがとうございます。ご意見・ご感想などございましたら、ご遠慮なくメール・FAX・連絡帳にてお聞かせください。今後の教室の運営、ニュースレターの作成に反映させ、ますますの充実を図って参ります。

また、本紙の配信がご不要の場合、その旨ご一報くださいますようお願いいたします。

思っていることをこうもうまく表現してくれているのだろう」と思うこともあれば、「なるほど、そんな考え方があるのか」と視野を開かせてくれることもあるのは、本を多く読んだ人が誰でも経験していることだと思います。

読書は自分自身がたえず更新されていく経験です。知ること、気づくことは次の行動や思考に影響を与えています。よりよい未来、人生に大人も子供も、人生に資する読書を欠かさないようにしたいものです。(松末)



目次

- 一面 『読書の魔術』
- 二面 『脳のしくみを使った学習』
- 三面 『ピクニックアップ』
- 四面 『ライブラリ25』

『レギュラー生への案内』